

平成 27 年度 鴨川市消防委員会 会議録

- 開催年月日 平成 28 年 2 月 5 日（金）
開始・終了時刻 午前 10 時 00 分から午前 11 時 00 分まで
- 開催場所 鴨川市役所 400 会議室
- 議 長 吉田消防委員長
- 出席委員 吉田維夫委員長 磯貝芳弘副委員長 長谷川清一委員
石渡清実委員 東島康二委員 入野芳一委員 田代朗委員
吉田裕迪委員
- 事務局の職氏名 消防防災課長 滝口悦夫、課長補佐 苅込彰男
消防生活安全係長 渡辺慎太郎
- 会議次第
- 1 開 会
 - 2 委員長あいさつ
 - 3 市長あいさつ
 - 4 議件
- 第 1 号議案 平成 27 年度消防団事業実施状況について
第 2 号議案 平成 27 年度消防関係決算見込について
第 3 号議案 平成 28 年度消防団事業計画（案）について
第 4 号議案 平成 28 年度消防関係予算編成（案）について
- 5 その他
 - 6 閉 会
- 配付資料 会議次第
議案資料
消防委員名簿
鴨川市消防条例

事務局（荻込）

皆様こんにちは。

本日は、ご多用の中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。

只今から平成 27 年度鴨川市消防委員会を開会させていただきます。

本日、委員の皆様全員のご出席をいただいております。

鴨川市消防条例第 17 条第 2 項に「委員の過半数が出席しなければ、これを開くことが出来ない」と規定されておりますが、委員全員の出席をいただいておりますので、本会議は成立をいたします。

会議に先立ちまして、吉田消防委員長からご挨拶をいただきます。

鈴木委員長

皆さんこんにちは。

本日は消防委員会を招集させていただきましたところ、委員の皆様には、お忙しいところ、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、日頃より消防委員会をはじめ、消防団活動や消防防災行事等にご支援、ご協力をいただいておりますこと、改めて敬意を表す次第でございます。

本日の議題は、第一号議案から、第四号議案まででございます。

皆様にご審議いただき、併せてご意見をいただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局（荻込）

ありがとうございました。

続きまして、長谷川市長からご挨拶を申し上げます。

市長

皆さん、こんにちは。市長の長谷川でございます。

委員の皆様方におかれましては、公私共にご多用の中、消防委員会にご出席を賜り、大変ご苦勞様でございます。

また平素より、消防防災行政のみならず、本市行政に深いご理解、ご協力を賜っておりますこと、重ねて敬意と感謝を申し上げます。

本市の消防防災行政といたしましては、消防力の強化を図るため、防火水槽や消火栓などの消防水利の整備や、老朽化した火の見やぐらに変わるホース乾燥塔の設置工事、また、消防ポンプ自動車の更新や防災行政無線の増設及び防災ラジオなどの整備、更には東日本大震災を教訓とし、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりを目指し、津波避難タワーの建設や自主防災組織の育成などを積極的に推進しておりますところでございますが、今後も更なる消防防災事業

の取り組みを進めてまいる所存でございます。

どうか委員の皆様方には、平成 28 年度も引き続き、お力添えをお願いいたすところでございます。

さて、本日の議件といたしましては、第一号議案、平成 27 年度消防団事業実施状況について、第 2 号議案、平成 27 年度消防関係決算見込について、第 3 号議案、平成 28 年度消防団事業計画（案）について、第 4 号議案、平成 28 年度消防関係予算編成（案）についてでございますが、委員の皆様にご審議いただき、忌憚のないご意見を頂ければと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申しあげまして挨拶に代えさせていただきます。

本日はご苦労様です。

事務局（苅込）

ありがとうございました。

早速議事に入らせていただきますが、消防条例 17 条第 1 項に、会議は委員長が議長を務めると規定されておりますので、吉田委員長をお願いいたします。

それでは、吉田委員長よろしくをお願いいたします。

議長

議長を努めさせていただきます吉田でございます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

本日の会議録の確認をしていただく委員を決めさせていただきたいと思いますが、私から指定させていただくということでよろしいでしょうか。

～ 異議なしの声あり～

議長

それでは、会議録の確認については、入野芳一委員をお願いしたいと思いますので、よろしく申し上げます。

それでは次第に基づきまして会議を進めさせていただきます。

これより議事に入ります。

まず、はじめに第 1 号議案 平成 27 年度消防団事業実施状況について、及び第 2 号議案 平成 27 年度消防関係決算見込については関連がございますので、事務局から一括説明をお願いします。

事務局（渡辺）

それでは私から説明させていただきます。第 1 号議案、平成 27 年度消防団事業実施状況についてですが、資料の 1 枚目をご覧ください。この中で主だったものについてご説明いたします。まず 4 月の 19 日ですが、幹部新入団員訓練を陸上競技場駐車場で普通救命講習会を文化体育館で行いました。幹部新入団員訓練では幹部団員 90 名、新入団員 38 名の参加をいただき、普通救命講習会には

29名の参加をいただきました。

次に5月17日に第11回鴨川市消防操法大会を開催し、最優秀賞は第1支団第4分団が受賞いたしました。引き続き6月21日に本市で開催されました第34回安房支部消防操法大会に出場し、結果は3位でした。

また、7月25日に千葉県消防学校で行われました第51回千葉県消防操法大会小型ポンプの部に出場しました第3支団第4分団は5位に入賞し、指揮者を務めました落合部長におきましては最優秀賞を受賞いたしております。

次に10月ですが、10月18日に2回目の普通救命講習会を開催し、28名の参加をいただきました。10月21日は上級幹部研修として館山市のコミュニティセンターで開催された「防災に関わる講演会」に本部役員12名参加いたしております。

次に11月ですが、11月1日に秋の全国火災予防運動の一環として防火パレードを実施し各支団ごとに消防車で主要道路を走行し、啓発運動をいたしました。また同日、防災訓練を小湊小学校で開催いたしております。

次に1月ですが、1月6日には恒例の消防出初式を開催いたしました。

また、今後になりますが、3月の1日から7日までは春の全国火災予防運動が行われますので、広報かもがわに啓発記事の掲載や、防火チラシの配布等行う予定です。

つづきまして、第2号議案平成27年度消防関係決算見込については資料の2枚目をご覧ください。最初に、常備消防費ですが、支出見込額が607,935,000円、これは安房消防への負担金でございます。

次に非常備消防費のうち、公用車費ですが、9,414,000円の支出を見込んでおります。内訳としまして、消防車両1台の購入費が4,428,000円です。これは、軽の可搬積載車で今月末に納入予定となっており、第2支団第5分団2部、畑地区に配備いたします。その他、燃料代、車検代等でございます。

次に消防団運営事業費として58,426,000円の内訳ですが、団員報酬、活動手当、運営交付金等でございます。また、団員の装備品として、消火活動用のシコロ付ヘルメットを62個購入した金額が、803,520円となっております。

次に、左の上から3段目の消防施設費ですが、消防施設維持管理事業費として6,419,000円ですが、これは詰所の修繕や光熱水費等でございます。また、西条地区の第1支団第5分団2部の火の見やぐらの老朽化により、やぐらを撤去し、ホース乾燥塔の設置工事をしたものが、1,112,400円となっております。次に、消防用品購入事業が1,944,000円、こちらは消火栓の器具箱や消防ホース等の購入をしておるものでございます。また、消火栓設置事業として、4,895,000円こちらは、水道局に消火栓の新設や修繕を委託しております。本年度は竹平地区に消火栓を1基新設し、その他は修繕をいたしております。次に、防火水槽新設事業費が602,000円、これは昨年度新設しました八丁地区の防火水槽の用地買収費で、本年度は防火水槽の新設はありませんでした。

次に災害対策費ですが、主だったものとして3段目の災害対策事業費といた

しまして、7,537,000 円、内訳としまして、備蓄倉庫の備蓄品の購入や更新でございます。また、防災行政無線維持管理事業費としまして 38,632,000 円、こちらは無線施設の修繕及び保守委託料、防災行政無線デジタル化改修工事等でございます。また、防災ラジオを 500 台購入いたしております。最後に自主防災組織補助事業ですが 508,000 円こちらは、奈良林、坂東団地、浜荻東町の自主防災会の事業につきまして、補助金を交付したものでございます。

総合計で、736,749,450 円の支出見込みでございます。

第 1 号議案及び第 2 号議案につきましては以上でございます。

議長

只今、事務局から第 1 号議案、平成 27 年度消防団事業実施状況について及び第 2 号議案、平成 27 年度消防関係決算見込について一括説明がありました。

質疑・ご意見等ありましたら、よろしくお願いいいたします。

東島委員

防災ラジオ購入 500 台は我々にも売ってくれるのですか。

事務局（滝口）

一般の方には 3,000 円で有償貸与としております。土砂災害警戒区域内の住民には無償で貸与しております。

長谷川委員

火の見やぐらはあとどれくらい残っていますか。

事務局（渡辺）

3 基残っています。

礪貝委員

アルファ米等の備蓄食料の更新した古い物の取り扱いについて教えて下さい

事務局（滝口）

賞味期限切れ前に、地域の防災訓練等で、試食したり配付したりしております。

礪貝委員

自主防災組織補助事業で奈良林区はどのようなことをしたのですか。

事務局（滝口）

発電機を購入しております。

議長

他に質疑・ご意見等ございませんか。無いようですので、原案どおり承認いたします。

議長

これより第3号議案 平成28年度消防団事業計画案について及び第4号議案 平成28年度消防関係予算編成案については関連がございますので、事務局から一括説明をお願いします。

事務局（渡辺）

それでは私から説明させていただきます。第3号議案 平成28年度消防団事業計画案についてですが、資料の3枚目をご覧ください。

まず、4月17日ですが幹部新入団員訓練と普通救命講習会を実施いたします。

次に5月22日に第12回鴨川市消防操法大会を実施いたします。また安房支部大会は6月19日で決定しております。県大会につきましては、まだ詳細が分かっておりません。

次に10月に2回目の普通救命講習会を開催し、また安房支部が主催します上級幹部研修に参加します。

続いて11月には秋の全国火災予防運動に伴い、防火パレードを実施いたします。また、防災訓練につきましては、11月の6日、長狭学園で実施いたします。

続いて12月から恒例の夜警をおこないます。2回に分けて、各分団の巡視を市長、議長に行っていただきます。

続いて1月には恒例の出初め式を開催いたします。第3号議案につきましては以上のとおりです。

続きまして、第4号議案について、ご説明いたします。資料の4枚目をご覧ください。最初に常備消防費ですが、609,722,000円、こちらは全額安房消防への負担金です。昨年比で微増となっております。

次に非常備消防費ですが、公用車費が44,168,000円、こちらは消防車両の更新及び修繕、燃料代、車検や保険代等です。28年度は消防車両の更新は2台、第2支団第3分団、太海地区及び第4支団第2分団、内浦地区を予定しております。いずれもCD型のポンプ車を計画しております。また、消防団運営事業費が56,884,000円、こちらは、団員報酬、手当、交付金等でございます。また、消防団員の装備の充実を図る上で、今年度は耐火服を各車両2着ずつ、約2百万円を見込んでおります。

なお、前年比3百万円程の減額となっておりますのは、県大会の出場交付金が百万円、団員の減員に伴います、報酬、手当の減が約2百万円で合計3百万円の減となっております。

次に消防施設費ですが、消防施設維持管理事業費として6,030,000円、こちらは分団詰所の修繕費や光熱水費等でございます。また、防火水槽撤去工事を東町地区、ホース乾燥塔設置工事を太尾地区に、それぞれ予定いたしております。消火栓設置事業費として4,944,000円、こちらは水道局に委託して、水道工事と併用して消火栓の新設や修繕等を行うものです。

次に防火水槽新設事業費として、15,120,000円、今年度は横渚地区と釜沼地

区に防火水槽を新設予定です。

最後に災害対策費でございます。上から3番目の災害対策事業費ですが、111,186,000円、これは主に小湊地区に計画しております津波避難タワーの建設工事費でございます。先月27日に選定プロポーザル審査を実施し、最適提案者として、日鐵住金建材株式会社が選定されたところでございます。その他、アルファ化米や保存飲料水等、備蓄品の購入及び更新の費用です。

次の防災行政無線維持管理事業費ですが、12,075,000円、こちらは無線施設の修繕及び保守点検委託料でございます。1,400万円の減につきましては、昨年500台購入した防災ラジオの購入費を本年度は見込んでいないことによるものでございます。

最後の自主防災組織補助事業費が2,000,000円、こちらは、自主防災組織が防災対策事業を行った場合に20万円を上限に補助金を交付しておるものでございます。

合計で864,528,000円でございます。前年比で1億2,800万円程増加となっております。以上で説明を終わります。

議長

只今、第3号議案 平成28年度消防団事業計画案について及び第4号議案 平成28年度消防関係予算編成案について一括説明がありました。質疑、ご意見等ありましたら、よろしくお願いたします。

長谷川委員

津波避難タワーについて、説明願いたい。

事務局（滝口）

まず、県内の設置状況ですが、現在千葉県内に9基設置済みとなっておりますが、県南地域の安房夷隅では初めてとなります。設置場所は小湊小学校の野球場側で、高さは12メートルです。特徴として、防錆仕様の溶融アルミニウムメッキを採用しており、これは全国で初めてです。

この地区は東西の川に挟まれており、小学校には屋上がないことから、PTAや防災会から設置の要望があったところでもあります。

先日のプロポーザル審査では、場所柄もあり、錆に対し、耐久性に優れた工法が重視され、こちらが選定されたところでございます。

財源ですが、緊急防災減災事業債として100パーセントの起債で、その内の70パーセントが地方交付税でまかなわれます。この措置は平成28年度まで、受けられることとなっておりますので、28年度中の実施に向け計画に至ったところです。

議長

他に、質疑等ございませんか。無いようですので、原案どおり可決いたします。

皆様のご協力のもと、第1号議案から第4号議案まで審議が終了いたしました。

